

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	舞台ワークショップ・吹奏楽ワークショップ			会計	款	項	目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	演劇活動をしている高校生、吹奏楽を学んでいる中学生	意図	文化会館を活用した体験学習の場の提供
事業内容	高校生を対象に舞台ワークショップを、中学生を対象に吹奏楽ワークショップを文化会館ホールで実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	高校演劇の発表会が文化会館で定期開催されている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	高校演劇20分シアター参加者数	600	850	650	人	→→
②	舞台ワークショップ参加者数	263	643	279	人	→→	
③	中学生のための吹奏楽ワーク参加人数	310	286	293	人	→→	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,368,100	923,000	909,200			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)		0.15	0.10	0.10			
人役・再任用(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	舞台ワークの多様な機会を提供していく。また、流山高校演劇フェスティバルについては、引き続き対象地域を拡大し実施出来るよう努める。	③取組の課題	高校演劇では、学校によっては部員が少なくなっている。
②今年度(H29)に実施した取組	演劇フェスティバルは、学生が一堂に会することを優先し、参加校の拡大は行わなかった。	④今後(H30以降)の改善計画	中学生に対する演劇イベントのPRを図っていく。